

事業名 ふれあい市民事業  
 主管課 総務部 企画課  
 基本計画施策体系 第6章 - 1  
 款項目 2款 1項 3目

決算額		20	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	20	千円

〔事業概要及び成果〕

市長への手紙

広聴活動の一環として、広く市民から市政への意見・提案等を聴取するため、「市長への手紙（はがき）」を市役所及び市内各公共施設に設置した。

寄せられた意見・提案及びその回答について、ホームページに掲載した。

ふれあい市民アンケート

迅速な市民意向の把握を行うため、200人程度の市民を登録し、アンケートを各年度数回実施する。その結果を広報紙およびホームページにて公開する。

平成17年度登録未実施

ふれあい市民懇談会

市民一人ひとりの生の声を大切に、市民と一体となったまちづくりを推進するため、市民と市長が直接意見を交換し合う市民懇談会を実施した。懇談会での意見・要望及びその回答について、広報紙に掲載した。

とみさとふれあい講座

市民の市政に対する理解を深め、市民参加の行政の推進を図るとともに、市民が進んで学習できる環境づくりの実現を図るため、市民団体等の求めに応じて市が職員を説明員として派遣し、市政に関する情報提供や講習等を行った。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

市長への手紙

- ・設置場所...市役所、日吉台出張所、中部ふれあいセンター、保健センター、中央公民館、福祉センター、図書館、郵便局（富里、七栄、十倉、日吉台）
- ・印刷部数...「市長への手紙」のはがき 1,000枚
- ・はがきによる意見等の受付数 61件

ふれあい市民懇談会

- ・4月、10月（年2回）に開催
- ・延べ19人が参加し、23件の意見等があった。

とみさとふれあい講座

- ・24講座の申請があり、延べ627人が参加した。
- ・制度を充実し、より多くの市民の利用が図られるよう、平成18年3月末に講座メニューの改正を行った。

事業名 ホームページ充実事業

主管課 総務部 企画課

基本計画施策体系 第6章 - 1

款項目 2款 1項 3目

決 算 額		399	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	399	千円

〔事業概要及び成果〕

ホームページを通じての情報発信は、広報紙面と比べ情報量の制約が少ないことや迅速な情報提供の面で優れています。

迅速に情報を提供するためには、情報発信者である各部署でのホームページ作成が必要となってきます。

平成 17 年度は企画課内に簡便にホームページの作成ができるシステムを導入し、操作性の検証を行いました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

年間更新回数 282 件

アクセス数 193,277 回

事業名 男女共同参画推進事業

主管課 総務部 企画課

基本計画施策体系 第1章 - 8

款項目 2款 1項 7目

決 算 額		23	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	23	千円

〔事業概要及び成果〕

男女共同参画計画に基づき、人権が尊重され、女性も男性も真に対等なパートナーとして、いきいきと能力と創造性を発揮し、意欲と責任をもって参加することのできる社会づくりを目指し、啓発紙の発行、講座の開催等を行いました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

とみさと男女共同参画情報誌第10号の配布

「女性に対する暴力をなくす運動」の配布

再就職セミナーを開催 11/8・9 中央公民館（延べ16人参加）

事業名 行政改革推進事業

主管課 総務部 企画課

基本計画施策体系 第6章 - 3

款項目 2款 1項 7目

決 算 額		98	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	98	千円

〔事業概要及び成果〕

第2次行政改革大綱及び行動計画に基づき進行管理を行うとともに、行動計画を95項目(前年度90項目)にしました。

また、新たに平成21年度を目標とした「富里市集中改革プラン」を策定しました。

〔事業規模等(数量等に関する説明)〕

行政改革懇談会の開催 3回

行政改革推進本部会議の開催 3回

行政改革推進委員会の開催 2回

平成17年度行動計画数 95項目 削減効果額 約26,800万円(平成14年度比)

事業名 外国語推進事業

主管課 総務部 企画課

基本計画施策体系 第1章 - 9

款項目 2款 1項 7目

決 算 額		1,768	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金	730	千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	1,038	千円

〔事業概要及び成果〕

平成16年度に設置された富里市外国語推進協議会の答申を受け、具体的に展開するため、富里市外国語推進事業実施協議会が設置され、具現化する事業として「とみさとザ・ワールド・キッズ」が提唱されました。

17年度は市内8小学校区のうち3地区(日吉台小・七栄小・南小)でパイロット事業を展開しました。各地区で運営委員が企画運営の主体となり、楽しく生きた英会話活動を実施しました。

このパイロット事業の事業評価に基づき、事業内容の一層の充実を図ると共に、諸問題を改善し、今後市内全域での事業展開を推進します。

〔事業規模等(数量等に関する説明)〕

外国語推進事業実施協議会 1回

拡大実施協議会(実施協議会委員・地区運営委員長) 3回(内研修会1回)

サポートチーム会議 5回

講師養成講座 1回(参加者27名)

異文化交流体験プログラムの開催 1回(参加者31名)

とみさとザ・ワールド・キッズ報告会

各地区運営委員会活動実績

・富里南小学校区 7月23日～9月3日 参加児童14人

・日吉台小学校区 6月28日～9月27日 参加児童46人

・七栄小学校区 7月25日～11月23日 参加児童40人

事業名 循環バス運行事業

主管課 総務部 企画課

基本計画施策体系 第5章 - 2

款項目 2款 1項 7目

決算額		11,535	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金	5,500	千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	6,035	千円

〔事業概要及び成果〕

平成14年9月より、路線バスが運行されていない交通空白地域について、高齢者等の通院や買物などの日常生活における移動手段を確保することを目的とし、本運行を開始しました。

平成17年度は、愛称募集により決定した『さとバス』に名称を改め、運行しました。

また、両国・八街線の路線バス廃止に伴う交通空白地域の対応のため、高松循環で八街方面に延長し、葉山循環と十倉循環を統合することで一日の運行距離の調整を行い運行しました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

期間 4月1日から3月31日（日・祭日を除く246日間）

ルート等 4ルート（新橋7便・根木名4便・十倉3便・高松3便）17便

4月1日のみルート改正前のため5ルートで運行

利用者 総利用者数 16,078人 1日当たり 65人

事業名 市有防犯灯整備事業

主管課 総務部 総務課

基本計画施策体系 第4章 - 7

款項目 2款 1項 10目

決算額		2,484	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金	1,240	千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	1,244	千円

〔事業概要及び成果〕

市内主要道路や通学路等に市で防犯灯を設置し、夜間における犯罪防止を図りました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

市有防犯灯新設置工事 55灯

事業名 防災行政無線整備事業

主管課 総務部 総務課

基本計画施策体系 第4章 - 5

款項目 2款 1項 11目

決算額		4,778	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債	4,700	千円
	その他		千円
	一般財源	78	千円

〔事業概要及び成果〕

地域防災計画に基づいた、防災行政無線の難聴地域への災害発生時の円滑な情報連絡体制の確保のため、高松地区へ防災行政無線の整備を行いました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

富里市防災行政無線屋外子局設置工事（高松地区） 1基

事業名 老人日常生活用具給付事業

主管課 健康福祉部 社会福祉課

基本計画施策体系 第2章 - 3

款項目 3款 1項 3目

決算額		3,036	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金	112	千円
	地方債		千円
	その他	1	千円
	一般財源	2,923	千円

〔事業概要及び成果〕

心身または身体に不安を抱えているおおむね65歳以上のひとり暮らしの方に、電磁調理器の給付や老人用電話の貸与及び緊急通報装置の貸与をすることにより、日常生活の便宜を図ることができました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

老人用電話貸与 実績 2台  
 緊急通報装置貸与者数 69人  
 緊急通報装置設置台数 新規 3台

〔備考〕

平成18年度から事務の所掌が高齢者福祉課へ移行

<b>事業名</b> ねたきり老人等紙おむつ給付事業 <b>主管課</b> 健康福祉部 社会福祉課 <b>基本計画施策体系</b> 第2章 - 3 <b>款項目</b> 3款 1項 3目	<b>決算額</b>		<b>4,717</b>	千円
	財源内訳	国支出金		千円
		県支出金	<b>567</b>	千円
		地方債		千円
		その他		千円
		一般財源	<b>4,150</b>	千円

〔事業概要及び成果〕

在宅のねたきり老人等に紙おむつの給付をすることにより、介護者及びその家族の経済的・精神的な負担の軽減を図ることができました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

ねたきり老人等おむつ給付事業

- ・給付者数 181人（内新規34人）
- ・給付総枚数 52,620枚

〔備考〕

平成18年度から事務の所掌が高齢者福祉課へ移行

<b>事業名</b> 移送サービス事業 <b>主管課</b> 健康福祉部 社会福祉課 <b>基本計画施策体系</b> 第2章 - 3 <b>款項目</b> 3款 1項 3目	<b>決算額</b>		<b>5,668</b>	千円
	財源内訳	国支出金		千円
		県支出金		千円
		地方債		千円
		その他	<b>281</b>	千円
		一般財源	<b>5,387</b>	千円

〔事業概要及び成果〕

在宅のねたきり、または車いすを利用している老人等が、居宅と在宅福祉サービスを提供する場所や医療機関等の場所との間を一般の交通機関を利用して移動することが困難な方に対して移送サービスを提供することにより、家族の負担軽減と老人福祉の向上を図ることができました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

貸出し用リフト車利用者実人数 13人 年間走行距離 2,567km  
 市社会福祉協議会業務委託（専用車両での開始は平成14年6月から）

- ・利用登録者数 80人
- ・サービス提供日数 241日
- ・利用総回数 1,014回（往復986回・片道26回）

〔備考〕

平成18年度から事務の所掌が高齢者福祉課へ移行

事業名 障害者（児）紙おむつ給付事業  
 主管課 健康福祉部 社会福祉課  
 基本計画施策体系 第2章 - 4  
 款項目 3款 1項 4目

決 算 額		1,287	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	1,287	千円

〔事業概要及び成果〕

在宅の重度心身障害者及び重度心身障害児に紙おむつ等を給付することにより、その世帯の経済的、精神的負担の軽減を図りました。

給付対象者

身体障害者手帳1級又は2級の障害のある4歳～65歳未満の者で、居宅において紙おむつを使用している方。

知的障害と判定され療育手帳の交付を受け、その程度がA、Aの1、Aの2、Aの1、Aの2と判定された4歳～65歳未満で、居宅において紙おむつを使用している方。

その他、福祉事務所長が特に必要と認めた方。

給付方法・・・委託事業者が現物を給付

給付枚数・・・原則として月60枚を上限とする

種類・・・紙おむつ（M・L）、パンツ式紙おむつ（S・M・L・LL）、尿取りパット

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

平成17年度対象者・・・27名

事業名 福祉タクシー助成事業  
 主管課 健康福祉部 社会福祉課  
 基本計画施策体系 第2章 - 4  
 款項目 3款 1項 4目

決 算 額		1,321	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	1,321	千円

〔事業概要及び成果〕

市内に住所を有する重度心身障害者が外出のためタクシーを利用する場合に、年間24回まで（人工透析療法を受けている方は年間48回まで）利用1回につき1,000円を限度額として、乗車料金の2分の1の額を助成し、障害者の外出促進を図りました。

給付対象者

身体障害者手帳1級又は2級の障害のある方。ただし、視覚障害者、下肢又は体幹機能障害者にあつては3級以上の方。

知的障害と判定され療育手帳の交付を受け、その程度がA、Aの1、Aの2、Aの1、Aの2と判定された方。

精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方で、その程度が1級の方。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

利用件数 延1,373件

協力タクシー会社 18社

事業名 障害者地域生活推進事業

主管課 健康福祉部 社会福祉課

基本計画施策体系 第2章 - 4

款項目 3款 1項 4目

決算額		6,000	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金	4,500	千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	1,500	千円

〔事業概要及び成果〕

障害者への地域での生活支援の取組みを検討し、市内及び周辺地域において地域生活支援(相談支援, ケアマネジメント, サービス提供体制等)の仕組みを段階的に向上させていくことを目的とします。

施設や居宅支援事業者との連携を強化し、様々な障害を持たれている方のニーズ等についての情報交換や情報提供などを実施するために、関係機関を構成員とする連絡調整会議を設置しました。

これにより、関係機関とのネットワークが構築され個別ケースや諸問題への解決に向け、連携体制の強化が図られました。

〔事業規模等(数量等に関する説明)〕

連絡調整会議を設置

委員...各種障害福祉サービス事業者, 各種福祉団体, 富里市社会福祉協議会, 富里市ボランティアセンター, 県立富里養護学校, 市役所など

会議実施回数...2回(第1回開催 平成17年12月20日 第2回開催 平成18年3月17日)

アンケート調査

実施内容...アンケート結果の報告(事業者等に対し実施...19事業所に配付/13事業所回答有り)

個別ケースの検討(3件...身体障害者【男性】・知的障害者【男性】・障害児【女性】)

各機関の活動報告等

相談支援の実施

電話相談 35件      訪問相談 36件      窓口対応 25件

連絡調整等 6件

事業名 放課後児童健全育成施設整備事業

主管課 健康福祉部 社会福祉課

基本計画施策体系 第2章 - 2

款項目 3款 2項 1目

決算額		16,873	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金	8,666	千円
	地方債	4,600	千円
	その他	3,000	千円
	一般財源	607	千円

〔事業概要及び成果〕

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童等に、授業の終了後に適切な遊びと生活の場を提供するため、市立根木名小学校に学童クラブを設置しました。

〔事業規模等(数量等に関する説明)〕

根木名学童クラブ

- ・構造 軽量鉄骨 平屋建
- ・延床面積 115.02 m<sup>2</sup>
- ・開設 10月1日
- ・入所者 3名(3月末日現在)
- ・根木名学童クラブ運営委員会へ委託



事業名 **子育て支援事業**  
 主管課 健康福祉部社会福祉課  
 基本計画施策体系 第2章 - 2  
 款項目 3款 2項 1目

決 算 額		902	千円
財源 内訳	国支出金		千円
	県支出金	325	千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	577	千円

〔事業概要及び成果〕

地域の子育ての拠点である全ての認可保育所が、子育て支援センターとしての機能を発揮できるよう支援しました。

また、新たに「とみさと子育て応援ブック」を作成し、掲載されている各幼稚園・保育園等の関係機関に配布、さらに、窓口において保育園関係や児童に関する各種手当等で来られている方に配布し、子育て支援の情報誌として活用されています。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

- 富里保育園へ補助 300,000 円
- こひつじ保育園へ補助 350,000 円
- 子育て応援ブック 1,600 冊作成

事業名 **葉山保育園園舎改築事業**  
 主管課 健康福祉部社会福祉課  
 基本計画施策体系 第2章 - 2  
 款項目 3款 2項 5目

決 算 額		212,108	千円
財源 内訳	国支出金	33,102	千円
	県支出金		千円
	地方債	170,300	千円
	その他	8,600	千円
	一般財源	106	千円

〔事業概要及び成果〕

老朽化した園舎の整備により保育環境の改善を図り、特別保育事業の一層の充実を目的に園舎の増改築を実施しました。また、新たに0歳児保育をできるように建設しました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

- ・鉄骨 平屋建 1408.9 m<sup>2</sup>
- ・17年度進捗率 50%
- ・定員 100 名

事業名 成田市急病診療所運営事業

主管課 健康福祉部 健康推進課

基本計画施策体系 第2章 - 5

款項目 4款 1項 1目

決算額		3,169	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	3,169	千円

〔事業概要及び成果〕

地域の救急救命医療機関と連携した地域住民に利用しやすい一次救急医療体制の拠点施設として整備が行われており、富里市民も利用していることから、診療所の運営の円滑化のために、その運営経費の一部を負担しました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

成田市急病診療所利用状況

負担金対象算定期間（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

全体診療者数 6,096人

うち富里市民 727人

平成17年度利用状況（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

全体診療者数 6,950人

うち富里市民 761人

事業名 予防事業

主管課 健康福祉部 健康推進課

基本計画施策体系 第2章 - 5

款項目 4款 1項 2目

決算額		24,963	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	24,963	千円

〔事業概要及び成果〕

病気（感染症）を予防するため予防接種を実施し、病気の蔓延を防ぎました。また、個別の予防接種については、郡内で相互乗り入れを行い体制の整備を図りました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

	対象者数	実施人数	受診率
・日本脳炎	2,223人	332人	14.9%
・三種混合	1,588人	1,876人	118.1%
・二種混合	449人	380人	84.6%
・麻疹	486人	398人	81.9%
・風疹	731人	713人	97.5%
・ポリオ	954人	769人	80.6%
・インフルエンザ（65歳以上）	6,769人	3,635人	53.7%

事業名 結核対策事業

主管課 健康福祉部 健康推進課

基本計画施策体系 第2章 - 5

款項目 4款 1項 3目

決算額		1,869	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	1,869	千円

〔事業概要及び成果〕

依然なくならない結核に対して、BCG 予防接種，結核検診，結核精密検査を実施し，結核予防に努めました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

	対象者数	実施人数	受診率
BCG 予防接種	幼児： 460 人	439 人	95.4%
結核検診	17,085 人	5,506 人	32.2%
結核精密検査	115 人	91 人	79.1%

事業名 母子衛生事業

主管課 健康福祉部 健康推進課

基本計画施策体系 第2章 - 5

款項目 4款 1項 4目

決算額		15,519	千円
財源内訳	国支出金	77	千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	15,442	千円

〔事業概要及び成果〕

母子保健法に基づき，次代を担う子供が健やかに生まれ育つため，各種健診等の実施に努めました。また，受診者への個別通知や個別訪問等を行い，受診率の向上及び子育てに関する不安の解消等に努めました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

健診受診状況	対象者数	受診者数	受診率
・乳児健診	... 403 人	... 388 人	96.3%
・1歳6か月児健診	... 423 人	... 396 人	93.6%
・3歳児健診	... 456 人	... 415 人	91.0%

事業名 老人保健事業

主管課 健康福祉部 健康推進課

基本計画施策体系 第2章 - 5

款項目 4款 1項 5目

決算額		93,238	千円
財源内訳	国支出金	8,323	千円
	県支出金	8,773	千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	76,142	千円

〔事業概要及び成果〕

老人保健法に基づき，成人病等の疾病の早期発見と予防のため，各種検診及び保健事業を実施しました。

受診者への個別通知等を行い，受診率の向上に努めました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

検診受診状況	対象者数	受診者数	受診率	要精検者数
・基本健康診査	10,610人	7,424人	70.0%	2,084人
・肺がん検診	10,610人	5,381人	50.7%	111人
・胃がん検診	12,786人	4,151人	32.5%	198人
・大腸がん検診	16,765人	2,284人	13.6%	130人
・子宮がん検診	15,341人	3,031人	19.8%	15人
・乳がん検診	10,939人	2,954人	27.0%	205人
・前立腺がん検診	9,963人	2,031人	20.4%	169人

事業名 小型合併処理浄化槽補助事業

主管課 経済環境部 環境課

基本計画施策体系 第4章 - 4

款項目 4款 1項 7目

決算額		12,191	千円
財源内訳	国支出金	3,057	千円
	県支出金	3,867	千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	5,267	千円

〔事業概要及び成果〕

河川の水質悪化の主原因が家庭からの雑排水となっているため，市は補助金制度を導入し合併処理浄化槽の設置に努め，高崎川及び利根川等の河川並びに印旛沼の水質保全に努めました。

〔事業規模等〕

通常型5人槽	240千円×23基	5,520千円
転換5人槽	354千円×2基	708千円
6・7人槽	411千円×5基	2,055千円
高度型5人槽	444千円×2基	888千円
転換補助	180千円×9基	1,620千円
蒸発拡散装置補助	200千円×7基	1,400千円

事業名 **ごみ処理施設建設事業**

主管課 経済環境部 環境課

基本計画施策体系 第4章 - 3

款項目 4款 2項 3目

決 算 額		21,791	千円
財 源 内 訳	国 支 出 金		千円
	県 支 出 金		千円
	地 方 債		千円
	そ の 他	21,000	千円
	一 般 財 源	791	千円

〔事業概要及び成果〕

昭和53年のごみ焼却施設稼働以降、人口増加によるごみ量の増加、生活形態の変化によるごみ質の変化、広域的処理の推進など、ごみを取り巻く状況は大きく変化し、これらに対応することが必要となっていることから、同様な課題をもつ成田市と共同で新焼却施設を建設するとともに、現在の最終処分場は、飽和状態となっていることから新たな最終処分場を建設する。

また、循環型社会に対応した、新たなリサイクルセンターを建設する。

平成17年度は、成田市・富里市の新たな一般廃棄物焼却施設の整備及び運営管理に係る基本協定書の締結、新清掃工場に係る千葉県環境影響評価(環境アセスメント)の実施、新焼却施設の共同整備に向けた協議、検討の実施、一般廃棄物最終処分場建設に伴う調査設計業務の委託を行い、資源循環型社会形成の推進を図りました。

〔事業規模等(数量等に関する説明)〕

- 一般廃棄物中間処理施設検討委員会 1回
- 新清掃工場機種選定委員会 8回
- 環境施設建設予定地の維持管理 3回

事業名 **美化推進事業**

主管課 経済環境部 環境課

基本計画施策体系 第4章 - 3

款項目 4款 2項 3目

決 算 額		2,087	千円
財 源 内 訳	国 支 出 金		千円
	県 支 出 金		千円
	地 方 債		千円
	そ の 他		千円
	一 般 財 源	2,087	千円

〔事業概要及び成果〕

市制施行の4月から、道路の里親制度(アダプトプログラム)を導入し、一定区間の道路を市民や事業者からなるボランティア(「里親」)に、道路の散乱ごみの収集など、清掃・美化活動を行ってもらい、環境美化に対する市民の意識の高揚を図るとともに、環境美化活動を推進しました。

また、ごみの散乱防止と再資源化促進の普及啓発を目的に、市内一斉ごみゼロ運動を実施しました。

美化推進活動として、ポイ捨て防止を訴えるため、回収ボックスや市内各所に花の植栽を実施しました。

〔事業規模等(数量等に関する説明)〕

アダプトプログラム

- ・登録団体 63団体
- ・登録者数 612名
- ・実施距離 67,290m

ごみゼロ運動

- ・収集量 23,900kg

美化推進活動

- ・回収ボックス 14箇所
- ・花の植栽 12箇所

事業名 **農業農村男女共同参画チャレンジ支援事業**  
 主管課 経済環境部 産業経済課  
 基本計画施策体系 第3章 - 1  
 款項目 5款 1項 3目

決算額		200	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	200	千円

〔事業概要及び成果〕

本市の女性農業者が農業経営に主体的に参画するとともに、政策・方針決定過程への参画を目指す「上」へのチャレンジの実現のため、女性の能力の活用場の拡大、次世代の女性リーダーの育成、出産・子育て期の女性の労働軽減等に関する啓発等を行い、女性と男性が共に社会に貢献することができる男女共同参画社会・女性に魅力ある農村社会づくりの推進を図りました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

農業男女共同参画推進事業協議会 委員 23人

- ・協議会(地域検討委員会)の開催 1回
- ・農業男女共同参画啓発講座「家族経営協定」の開催 参加者 25名
- ・先進地視察研修会（茨城県つくば市） 参加者 12名
- ・共同参画意識啓発用パンフレット作成
- ・家族経営協定締結者 5組

事業名 **経営体育成支援事業**  
 主管課 経済環境部 産業経済課  
 基本計画施策体系 第3章 - 1  
 款項目 5款 1項 3目

決算額		2,487	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金	1,740	千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	747	千円

〔事業概要及び成果〕

農協等が中核農家への貸し付けることを目的として設置するパイプハウス等に対し補助を行うことにより、施設化を促進し、生産の安定と品質の向上、農家の安定的経営が図られました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

経営体育成支援リース事業補助金

パイプハウス設置 12棟（3,276㎡） 対象農家 4戸

事業名 県営畑地帯総合整備事業

主管課 経済環境部 産業経済課

基本計画施策体系 第3章 - 1

款項目 5款 1項 5目

決算額		33,378	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債	13,200	千円
	その他		千円
	一般財源	20,178	千円

〔事業概要及び成果〕

畑地帯の暗渠排水，用排水整備，農道整備を総合的に実施し，農業生産基盤の整備を図りました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

北総中央 期地区（高崎川水系） 25,312 千円

- ・畑地排水 A = 19.2ha，暗渠排水 A = 1.3ha，
- ・実施設計一式，地上権・用地買収等一式

北総中央 期地区（木戸川，境川水系） 4,790 千円

- ・排水路 L = 48m
- ・実施設計一式，測量・土質調査一式

事業名 道路維持補修事業

主管課 都市建設部 建設課

基本計画施策体系 第5章 - 2

款項目 7款 1項 2目

決算額		86,987	千円
財源内訳	国支出金	19,600	千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他	9,000	千円
	一般財源	58,387	千円

〔事業概要及び成果〕

日ごろより生活道路として利用される老朽化した市道の道路，道路排水施設の維持補修工事を実施し，市民生活の向上に努めました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

**主要な道路維持補修工事**

市道1-0224号線 側溝布設替工事 4,410千円

側溝布設替 延長122m 集水桝設置2箇所 舗装工405.9 m<sup>2</sup>

市道01-002号線 排水対策工事 2,394千円

側溝設置 U500×500 延長42m U300×600 延長2m 集水桝設置 3箇所

市道01-011号線 舗装修繕工事 2,573千円

舗装修繕 延長120m 幅員6.35～6.70m 面積783 m<sup>2</sup>

市道5-0053号線 排水整備工事 1,785千円

塩ビ管布設 径250 延長53.5m 0号人孔1基 集水桝1基

市道3-0213号線 排水整備工事 2,835千円

側溝布設 U300 延長59m 塩ビ管布設 径100 延長13.7m 集水桝1箇所

市道1-0071号線 舗装修繕工事 1,764千円

舗装修繕 626 m<sup>2</sup> 交通安全施設工 1式

十倉地先排水対策工事 2,783千円

排水管布設 延長130m 集水桝設置 1箇所 2号人孔設置 1基

市道4-0120号線 排水対策工事 3,360千円

コルゲート管布設 延長17m ポックスカルバート 延長5.5m

市道01-002号線 舗装修繕工事 1,260千円

舗装修繕 591 m<sup>2</sup>

その他 73件

**主要な委託料**

跨道橋耐震補強工事委託料 28,711千円

跨道橋落下防止補強工事(東関東自動車道に架る)3箇所

第一高松橋，新岡橋，古山橋



事業名 **道路改良事業**

主管課 都市建設部 建設課

基本計画施策体系 第5章 - 2

款項目 7款 1項 3目

決算額		121,146	千円
財源内訳	国支出金	43,550	千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	77,596	千円

〔事業概要及び成果〕

住民生活において、毎日利用することが欠かせない通勤、通学、買物道路など生活基盤道路の環境整備に努めました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

**主要な道路改良等**

市道 01 - 006 号線道路改良工事 56,222 千円

七栄及び立沢地区の幹線市道である 01 - 006 号線について、道路改良工事を L = 346m 実施しました。

市道 01 - 006 号線用地購入費 9,204 千円

道路改良工事のための用地として 368 m<sup>2</sup> を購入しました。

市道 01 - 006 号線物件補償費 5,205 千円

道路改良工事のための物件補償を 3 件実施しました。

市道 01 - 003 号線道路改良工事 22,365 千円

七栄地区より久能地区に至るバス路線である市道 01 - 003 号線を L = 436m 整備し、本年度で全線に渡り完成しました。

市道 01 - 002 号線道路改良工事 4,515 千円

久能地区より日吉倉地区に至るバス路線である市道 01 - 002 号線を L = 145m 整備しました。

富里南小学校通学路拡幅工事 4,830 千円

富里南小学校の通学路である市道 01 - 012 号線を L = 80m 整備し、交通安全対策の推進に努めました。

富里養護学校通学路拡幅工事 4,253 千円

富里養護学校の通学路である市道 02 - 001 号線を L = 80m 整備し、交通安全対策の推進に努めました。

その他の工事等 14,552 千円

上記のほか、整備優先度の高い幹線市道・生活道路等について、道路改良工事・用地買収・その他委託等を実施し、推進を図りました。

事業名 交通安全施設整備事業

主管課 都市建設部 建設課

基本計画施策体系 第5章 - 2

款項目 7款 1項 4目

決 算 額		8,568	千円
財 源 内 訳	国支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
一般財源		8,568	千円

〔事業概要及び成果〕

市民が安心して通行できる道路環境を確保するため、計画的にカーブミラーやガードレール等の交通安全施設を整備するとともに、維持管理に努めました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

主な交通安全施設整備

- ・カーブミラー新設 8基
- ・カーブミラー補修 4基
- ・道路標識補修 6基
- ・ガードレール新設 1箇所
- ・ガードレール補修 5箇所
- ・その他 区画線及び車止め、ポストコーンの設置や道路照明の補修など
- ・保険対応 カーブミラー3基、標識8基

事業名 七栄新木戸地区土地区画整理事業 主管課 都市建設部 区画整理課 基本計画施策体系 第5章 - 1 款項目 7款 2項 3目	決算額		205,530	千円
	財源内訳	国支出金	62,000	千円
		県支出金	13,413	千円
		地方債	41,300	千円
		その他	70,000	千円
	一般財源	18,817	千円	

〔事業概要及び成果〕

土地区画整理事業により公共施設の整備を行い、市の玄関口として相応しいまちづくりを行う。

南新木戸地区については、期間の延伸等事業計画を変更しました。また、一部仮換地の使用収益を開始し、一箇所の保留地（21,334,418円 A=398.03㎡）を処分しました。

北新木戸地区は、一部仮換地の使用収益を開始し、大型商業施設が進出しました。また、平成18年度事業に向けて、一部の仮換地を指定しました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

**委託料 29,052千円**

- ・南新木戸補償調査業務委託 6,300千円  
H18移転対象物件（店舗）
- ・北新木戸補償調査業務委託 5,145千円  
H18移転対象物件（住宅、工作物等）
- ・北新木戸確定測量業務委託 3,696千円  
約5.8ha測量、境界杭設置等
- ・その他の委託 13,911千円  
不動産鑑定、交差点協議図面作成、画地確定（設置）測量業務等

**工事請負費 172,247千円**

- ・南新木戸地区内工事（その1） 2,369千円  
造成工 81m 道路工 24m
- ・南新木戸地区内工事（その2） 7,770千円  
造成工 A=1,500㎡ 道路工 L=38m(側溝) , L=52m(歩道) 雨水工 L=48m
- ・北新木戸地区内工事（その2） 25,200千円  
道路工 199m(上層路盤まで)
- ・北新木戸地区内工事（その3） 14,011千円  
道路工 73.2m
- ・北新木戸地区内工事（その4） 13,622千円  
道路工 113m(上層路盤まで)
- ・北新木戸地区内工事（その6） 20,912千円  
道路工(舗装工) 307m 区画線一式
- ・その他の工事 88,363千円  
造成工、道路工、水道工等

**補償金 3,976千円**

- ・北新木戸移転補償 3,731千円  
工作物等移転補償 2件
- ・南新木戸移転補償 245千円  
架空線移設

事業名 まちづくり事業

主管課 都市建設部 建設課

基本計画施策体系 第5章 - 1

款項目 7款 2項 3目

決算額		1,943	千円
財源内訳	国支出金	1,400	千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	543	千円

〔事業概要及び成果〕

七栄新木戸土地区画整理事業にあわせ、「にぎわい核」としての機能を早期に発揮させるため、まちづくり交付金事業を活用し、交通広場、公園、雨水排水などの都市基盤整備を実施する。

土地区画整理事業により整備される交通広場については、富里IC近接地という立地を活かしたパークアンドバスライドによる高速バスの利便性の向上と高速バスの拡充を図るものであり、平成17年度はバス事業者と十分に協議を行いながら、実際的高速バス乗り入れを踏まえた交通広場の施設設計を行いました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

交通広場設計業務委託料 1,943千円

事業名 七栄・葉山線整備事業

主管課 都市建設部 都市計画課

基本計画施策体系 第5章 - 2

款項目 7款 2項 4目

決算額		32,651	千円
財源内訳	国支出金	15,950	千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	16,701	千円

〔事業概要及び成果〕

本路線は、葉山地区より都市計画道路3・4・20号成田・七栄線へ接続する都市計画道路で、成田空港南部、富里市及び成田市を結ぶ補助幹線道路として整備するもので、国道296号の渋滞を解消し交通の円滑化を図る。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

道路建設工事 32,651千円

- ・本体工事(L=406m W=16m 2車線)
- ・付帯工事（現道とのすり付け工事）

事業名 救急救命士養成事業

主管課 消防本部

基本計画施策体系 第4章 - 5

款項目 8款 1項 1目

決算額		2,247	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	2,247	千円

〔事業概要及び成果〕

救急搬送途上における応急処置の充実を図り、傷病者の救命率を向上させるため、救急救命士を勤務体制に対応できるように計画的に養成しました。

救急救命士養成は、心肺停止傷病者の救命効果の向上と救急業務の高度化に大きな成果をもたらしました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

平成17年度救急救命士 1名養成

- ・救急救命士養成研修（救急救命東京研修所）4/4～9/26

- ・救急救命士国家試験合格

就業前病院実習 1人参加

気管挿管病院実習 2人参加

消防学校入校研修等 2人参加

事業名 携帯用119番受付電話機  
設置事業

主管課 消防本部

基本計画施策体系 第4章 - 5

款項目 8款 1項 1目

決算額		1,512	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金	750	千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	762	千円

〔事業概要及び成果〕

携帯電話からの119番通報は代表消防本部により受信し、管轄消防本部に転送していましたが、管轄消防本部で直接受信できるように、受信システムを変更しました。

このシステム移行により、代表消防本部を経由することなく直接受信できるため、消防業務の遂行に大きな成果が得られました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

消防本部通信指令室及び通信機械室内設置工事

- ・基本装置一式

- ・電話機2台

- ・自動通話録音装置2台

- ・地図検索装置一式

事業名 外国人英語講師招致事業

主管課 教育委員会 学校教育課

基本計画施策体系 第1章 - 4

款項目 9款 1項 3目

決算額		9,562	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他	160	千円
	一般財源	9,402	千円

〔事業概要及び成果〕

外国語指導助手（ALT）を中学校に配置し、中学校英語での「聞くこと」「話すこと」の音声によるコミュニケーション能力の育成が図られた。

英語圏の文化に対する興味関心が高められた。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

JETプログラム利用によるALT 2人（内1人は7月に帰国）

民間委託のALT 9月から1名（6時間/日，5日/週）

事業名 研究指定校事業

主管課 教育委員会 学校教育課

基本計画施策体系 第1章 - 4

款項目 9款 1項 3目

決算額		5,384	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金	2,630	千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	2,754	千円

〔事業概要及び成果〕

小学校英語活動研究指定校を七栄小学校に指定し、平成16年度から3年間小学校における英語活動の指導内容や方法について研究する。

研究内容を市内の小学校に広めることにより、英語活動の水準の維持と向上に資することができた。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

ALTを1名配置し実践研究を実施（6時間/日，5日/週，35週/年）

研究紀要作成 80部

事業名 国際化推進コーディネーター派遣事業 主管課 教育委員会 学校教育課 基本計画施策体系 第1章 - 4 款項目 9款 1項 3目	決算額		1,739	千円
	財源内訳	国支出金		千円
		県支出金		千円
		地方債		千円
		その他		千円
	一般財源	1,739	千円	

〔事業概要及び成果〕

小学校に優れた英会話能力を持った補助教員を配置することにより、児童の英語に対する興味関心が高まり、英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲が見られるようになった。

英語圏の文化に対する興味関心が高まり、日本の文化についても理解を深められた。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

補助教員2名 七栄小を除く市内の小学校に配置  
（4時間/日、140日/年）

事業名 小学校改築事業 主管課 教育委員会 庶務課 基本計画施策体系 第1章 - 4 款項目 9款 2項 1目	決算額		457,199	千円
	財源内訳	国支出金	104,038	千円
		県支出金		千円
		地方債	302,400	千円
		その他	50,000	千円
	一般財源	761	千円	

〔事業概要及び成果〕

建築後28年経過する浩養小学校校舎は、老朽度合いを判定する耐力度調査の結果、規定される安全値が得られなかったため、平成16,17年度の継続事業により校舎の建替えをしたものです。平成17年度に新校舎が完成しました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

改築工事の概要

【建築工事】

・構造 鉄筋コンクリート造 ・階層 2階 ・延床面積 2,753.23㎡

【電気設備工事】

・自家用電気工作物設置工事 ・照明設備工事 ・電話設備工事 等

【機械設備工事】

・給排水設備工事 ・空調和設備工事 ・浄化槽設備工事 等

〔備考〕

平成18年度から庶務課から教育総務課へ名称変更

事業名 **ブックスタート事業**  
 主管課 教育委員会 図書館  
 基本計画施策体系 第1章 - 1  
 款項目 9款 5項 3目

決 算 額		268	千円
財源内訳	国支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	268	千円

〔事業概要及び成果〕

保健センターで行われる乳児健診時に、赤ちゃんに絵本を楽しんでもらうとともに、絵本を通じて親子のふれあいの時間をつくるきっかけとなるよう実施する事業です。

関係各課やボランティアとの連携により、「子育て支援」という面からもアプローチしています。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

ブックスタート 12回実施， 参加者 388組

事業名 **下水道整備事業**  
 (下水道事業特別会計)  
 主管課 都市建設部 下水道課  
 基本計画施策体系 第5章 - 4  
 款項目 1款 2項 1目

決 算 額		243,013	千円
財源内訳	国支出金	37,000	千円
	県支出金		千円
	地方債	118,800	千円
	その他	12,800	千円
	一般財源	74,413	千円

〔事業概要及び成果〕

生活環境の改善及び公共用水域の汚濁防止を目的とした污水管渠の整備と公共下水道の普及促進を図りました。

平成17年度末時点では、下水道全体計画区域1,086haのうち整備面積379haとなり、整備率は34.9%となりました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

国庫補助事業 96,367千円

- ・ 公共下水道測量設計 5件（日吉倉及び七栄地先） L = 1,046m
- ・ 公共下水道地質調査 3件（日吉倉及び七栄地先） 9箇所
- ・ 公共下水道污水枝線工事 4件（日吉倉及び七栄地先） L = 947.4m
- ・ 公共下水道路面復旧工事 2件（日吉倉地先） A = 1,738 m<sup>2</sup>

単独事業

- ・ 公共下水道測量設計 1件（七栄地先） L = 180m 4,935千円
- ・ 公共下水道污水枝線工事 1件（日吉倉地先） L = 44m 2,205千円
- ・ 公共下水道管渠更生工事（日吉倉地先） L = 93.56m 11,865千円
- ・ 公共污水柵設置工事 27件 9,184千円

印旛沼流域下水道事業建設費負担金 54,454千円

污水の処理先である県印旛沼流域下水道の管渠，ポンプ場，処理施設等の建設に係る関連市町村の負担金



事業名 根木名川九号雨水幹線整備事業  
 (下水道事業特別会計)  
 主管課 都市建設部 下水道課  
 基本計画施策体系 第5章 - 4  
 款項目 1 款 2 項 1 目

決 算 額		40,571	千円
財源 内訳	国支出金	27,600	千円
	県支出金		千円
	地方債	10,600	千円
	その他		千円
一般財源		2,371	千円

〔事業概要及び成果〕

根木名川九号雨水幹線は、市施行による土地区画整理事業が施行中の七栄北新木戸地区から日吉台地区の一部までを区域とする根木名川第七排水区における主要な幹線管渠です。

本事業は下流部の既存水路の改修を行い、排水能力を向上させるとともに、日吉台地区から区画整理事業地を結ぶ幹線上流部を新たに整備することにより、将来にわたり増加する雨水の円滑な排除を図るものです。

平成 17 年度は、雨水枝線工事と幹線の一部の測量設計並びに地質調査を実施しました。

〔事業規模等（数量等に関する説明）〕

まちづくり交付金充当事業

- ・根木名川九号雨水枝線工事（七栄地先） L = 116.9m 26,478 千円
- ・公共下水道根木名川九号雨水幹線測量設計（七栄地先） L = 680m 10,185 千円
- ・公共下水道根木名川九号雨水幹線地質調査（七栄地先） 6 箇所 2,730 千円